

# レストランでお食事

ほめかた絵本



画：城田 能豊靖

フツ君は、とても元気な男の子です。外へ出るとはしゃぎすぎて周りの人に迷惑をかけてしまいます。

今日は、フツ君が保育園の運動会で頑張ったので、お父さんとお母さんと3人で、レストランに行くことになりました。


フツ君は大喜び。

レストランは外からでもお客さんがたくさん入っているのが見えます。



お父さんが「フツ君、ごちそうさまするまでちゃんとイスに座っているって約束できる？席を立て騒いだら、帰るよ。」と言いました。フツ君は「うん！わかった。」と約束しました。

フツ君の注意をひいて、事前にしっかり約束しています。



席に着くと、フッ君は大好きなハンバーグを  
注文してもらいました。

「今日は、一生懸命に走れたね。」  
お父さんとお母さんにほめられて、  
ちょっと得意な気分です。

でも、なかなかハンバーグはきません。  
お父さんとお母さんは、二人でお話して  
いますが、フッ君にはよく分かりません。  
フッ君はしかたなく、本を見ていました。

それでも、なかなかハンバーグはきません。

フツ君は退屈です。

本も全部読めてしまったので本をたたんだり、足をバタバタ。

ついに席を立って、おもちゃを売っているコーナーへ行きました。



その時、お父さんがそばに来て

「フツ君、今日の約束覚えているかい？」と言いました。

フツ君は「うん…」と小さな声で答えました。



約束を思い出させています。

でも、とても素敵なおもちゃがいっぱい置いてあるので、  
触りたくてしかたがありません。



フッ君は大好きな飛行機を手に取り、走り始めました。

するとお父さんが、フッ君の前にしゃがんで目を見て言いました。  
「フッ君、それはお店の物だから、もとのところに返しなさい。

騒がないって約束だよ。席に帰りなさい。」

フッ君は

「おもちゃで遊びたい!!!」

と言いました。

けれど、お父さんは優しく

「飛行機をもとのところに返して、席に戻りなさい。」

と繰り返しました。



フッ君と目を合わせ、穏やかに、近づいて、落ち着いた声で繰り返しています。

その時フツ君は思い出しました。

春に来た時、お約束を守らずレストランの中を走ったり  
イスに立ち上がったりして、言うことを聞かなかったので、  
ごはんを食べずにつれて帰られたことを……。

フツ君は、しかたなく飛行機を返して席に戻りました。



フツ君が約束を破ったので、一貫した対応をしています。

「フツ君、よく我慢して座れたね。えらいよ。」

とお父さんがほめてくれました。

お母さんは

「フツ君退屈だった？」

と聞きながら、バックから折り紙を出してくれました。

「折り紙でもヒコーキが出来るよ。」

とお母さんが言いました。



フツ君が約束を守れたので、すぐにほめています。



フツ君はヒコーキを折り始めました。

「上手に折れるねえ、お母さんも折ろうかな。」と

一緒に折ってくれたので、

ヒコーキが3機も折れました。



やっと、ハンバーグがきました。

「フツ君、よい子で待っててえらかったね」

お母さんがほめてくれました。

フツ君はフウフウしながら、お口

いっぱいハンバーグを

頬ばりました。


お父さんもおいしそうにステーキを食べています。

お母さんがほっぺに付いたソースをそっとティッシュで

拭いてくれました。



約束を守れたフツ君を繰り返しほめています。



お腹いっぱいになった3人は、レストランを出ました。  
公園まで来た時に、お父さんが  
「ヒコーキ折ってたなあ、あれで遊ぼうか」と言って、  
レストランで折ったヒコーキを出しました。  
「雲の上までヒコーキ飛んでけー」と  
フッ君は叫びました。



ごほうびとして一緒に楽しむ時間をもっています。

## この本のポイント

家族揃ってレストランで食事をすることは、親にとっても子どもにとっても、とても楽しみなことです。

しかし、人が多く集まる場所では、子どもが騒いで周りの人に迷惑をかけてしまうと、つい大きな声で叱ってしまうことがありますね。

このストーリーでは、子どもにするべき行動を教え、できたらほめることで自信を持たせ、望ましい行動を促しています。

親も子ども、楽しい体験を増やしましょう。

### [1・2ページ]

お父さんは、フッ君がレストランで立ち歩いて遊んでしまうというお困り行動を予測し、入る前に予め子どもと約束ごとを決めています。

### [5・6ページ]

約束したことを思い出させています。

### [9・10ページ]

指示をするときは、子どもとしっかり視線を合わせ穏やかに近づいて、落ち着いた声で話しかけます。

それでも指示を聞かない場合は、壊れたレコードのように、同じ調子で落ち着いて指示を繰り返します。

### [11・12ページ]

約束を守らなかったときは、「騒いだら帰る」と伝えておいたとおり実行します。対応には一貫性を持ち、時には毅然とした態度で子どもと向き合うことも大切です。

### [14・18ページ]

ちゃんと約束を守れたときは、すぐにほめてあげましょう。また、そのがんばりが最後まで続いたときには、しっかりほめてあげましょう。

### [19・20ページ]

親子で楽しい時間を過ごすことも、子どもにとっては最高のごほうびになります。

## 【画】

城田 能豊靖 (有)川面美術研究所  
代表 荒木 かおり

## 【制作スタッフ】

京都府中丹広域振興局 健康福祉部

弓削 マリ子 石倉 秀紀  
全 有耳 森下 多恵子  
内海 和代 増田 仁美  
川村 愛子

## 【指導監修】

奈良教育大学 特別支援教育研究センター  
センター長 岩坂 英巳

発行元 京都府中丹広域振興局 健康福祉部  
(京都府中丹東保健所・京都府中丹西保健所)  
〒624-0906 京都府舞鶴市倉谷村西1499  
TEL(0773)75-0805

発行日 平成21年3月

印刷 株式会社 モトキ  
〒624-0816 京都府舞鶴市字伊佐津341  
TEL(0773)75-2177 FAX(0773)77-1388

※この絵本は作者独自の創作です。コピー等は慎んでください。